

学校探訪
No.12
吉浦中学校
手作りの
卒業証書



すぐそばをJR呉線が通り、校舎からは海が見える吉浦中学校。校舎裏の学校園では地域の人や保護者の協力のもと、1・2年生が育てるジャガイモやサツマイモなどのほか、10年前から毎年3年生がケナフを育て、卒業証書を手作りしています。ケナフは春に野ウサギに芽をかじられたり、イノシシに掘り返されたりしましたが、夏に

白い花を咲かせ、11月にはみんなで刈り取りました。収穫では、とげが指にあたり痛くて大変だったようですが「みんなで作ってきたという

達成感があって思い出になる」と梅中崇弘くんは話してくれました。薬品を使う加熱処理や細かく粉碎する作業は、地域の人や保護者が機械を借りてきて行い、最後に生徒の手で紙すきをして乾燥させた紙が卒業証書となります。ケナフと水をミキサーで混ぜて水槽に足す手伝いをしながら、友達にアドバイスもしていた大村遥さんは「紙すきは難しかったけれど、これが自分の卒業証書になると思うと一生懸命になりました」と笑顔で話していました。

来る3月8日、3年生101人は、地域の人たちの真心想い出が詰まった卒業証書を手にも、巣立ちます。



吉浦中学校 31-7570